

進路状況報告

東大・京大・一橋大 31名

国立大医学部医学科11名

東大15名・筑波大38名・

東北大16名

進路指導部長 横倉 敏治

国立大では近年、難関大を中心



土浦の尾張屋社長櫻井光孝さんで、「意志あれば道あり」という演題で、櫻井さんの人生観を温かい口調で語ってくれました。2回目にお話しいただいたのは、本校副校長明賀靖子先生です。自ら双子のお子様を極小未熟児で出産された経験から、人の命を救う活動をしたかと思いきや、赤十字などに参加し海外で活動した様子をお話しいただきました。11月には、NPO法人キドックス代表上山琴美さんをお招きする予定です。定時制ではこれからも、生徒たちが、自己肯定感を高め、社会との繋がりを意識していきけるような教育活動を積極的に展開していきたいと思っております。

に後期日程を廃止・縮小する動きがみられ、AO・推薦入試の枠が拡大されている。大きな流れとしては文高理低が継続している。医学部医学科の志願者数は4年連続で減少しており、同系統への人気は落ち着いてきた。また、難関大への志願者数が増加しており、受験生が果敢に挑戦した様子が窺える。

私立大では、併願時の受検料割引制度の拡大が、志願者数増加の大きな要因となっている。入学定員の厳格化に伴い、合格者の絞り込みが継続している。そのため、厳しい入試になるのではないかとという不安から、併願校数を増やしている受験生が多い。また、難易度の上昇も顕著である。

本校の合格状況については下の表のようになっていいる。難関国立大である北大、東北大、東大、一橋大、名大、京大、阪大の合格者数は70名であった。その他合格者数の多い大学は、筑波大38名、茨城大20名、千葉大17名、横浜国立大11名などとなっている。また、国立大医学部医学科の合格者数は、筑波大3名、東京医科歯科大1名、名大1名など11名であった。国立大以外では、自治医科大や防衛医科大学校に合格者がいた。

本校生の受験する大学は、難関大と言われる大学が多くを占め、目標を高く設定し、最後まで諦めない姿勢が窺える。しかしながら本校を取りまく環境変化が急激に進んでおり、今後より一層の学習指導・進路指導の充実を図っていかねばならない。

平成30年度入試合格状況

国立大学

Table with 4 columns: 大学名, 新卒, 既卒, 計. Lists various national universities and their admission statistics.

私立大学

Table with 4 columns: 大学名, 新卒, 既卒, 計. Lists various private universities and their admission statistics.

国公立大学医学部医学科

Table with 4 columns: 大学名, 新卒, 既卒, 計. Lists medical departments of national/public universities.

大学校

Table with 4 columns: 大学校名, 新卒, 既卒, 計. Lists university schools and their admission statistics.

Table with 4 columns: 合格者総数, 新卒, 既卒, 計. Summary of total合格者 statistics.

※医学部医学科を含む。